

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書（その1）

施策体系コード		2-3-2			事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進
担 当		市長政策室政策企画部企画課企画担当係 山口 Tel. 211-2192 経済局産業振興部新産業担当課コンテンツ担当係 今泉 Tel. 211-2379				
全 体 計 画						
事業内容	[政]政策企画部 創造都市さっぽろとは、市民や企業などの創造性を引き出し、都市の活性化を図るとともに、創造性あふれる環境や人材について積極的に情報発信することで都市のイメージ・評価を高め、外部からの注目や投資を獲得していく施策であり、庁内横断でその取り組みを実施していく。 ○芸術の森地区を創造都市の推進拠点としていくために、芸術の森地区に立地する施設等による連携事業を実施 ○クリエイティブコモンズを活用した創造経済知財運用の啓発・普及活動を行う民間組織の支援 ○創造都市さっぽろ推進民間組織の発足 [経]産業振興部 創造都市さっぽろの取り組みの中で、外需型産業として今後期待されるコンテンツ産業の分野において、本市への投資が促進されるよう、札幌の都市ブランドを効果的に表現・発信するためのVI戦略(Visual Identity)を定め、この戦略に基づくプロモーションを地域のクリエイターと連携して進めていく。 ※ VIとは、目に見える部分によるブランド確立のことで、「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」を視覚的にアピールしていく方法			<年度別の事業内容> [政]政策企画部 【19年度】庁内研究会による推進手法の検討、市民公開セミナーの開催など 【20年度】創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の発足、アイコモンズ・サミットの開催など 【21年度】クリエイティブコモンズ研究組織の支援、戦略的広報事業の実施など 【22年度】民間創造都市推進組織の発足など [経]産業振興部 【19年度】都市ブランドの活用方策として、VI戦略を進め、基本となるデザインを取りまとめる 【20年度】19年度成果を元に、市内の若手クリエイター等をメンバーとしたワークショップを開催 【21～22年度】ワークショップ等の継続、拡大 【22年度】創造都市さっぽろのブランドを原資に、ビジネス化する法人の設立の検討(ブランド管理、商品化・商標権の販売など)		
	平成19年度事業内容（決算）			平成20年度事業内容（決算）		
事業内容	[政]政策企画部 ○庁内研究会「創造都市さっぽろ推進検討委員会」を発足をさせ、学識経験者の助言を得ながら、創造都市さっぽろの推進手法となる「創造都市さっぽろ推進検討委員会報告書」を取りまとめた。(5,000千円) ○クリエイティブコモンズの普及等を議論する国際会議「アイコモンズサミット2008」の誘致(6,468千円) ○創造都市さっぽろ市民公開セミナーの開催(400千円) ○芸術の森地区リスタート素案策定事業(2,478千円) [経]産業振興部 ○(財)さっぽろ産業振興財団への委託 ・ (1)VI(Visual Identity)の策定：7,700千円 「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の考え方を視覚的に表すVIを策定し、そのコンセプト、利用法をまとめたマニュアルを作成し、マニュアルに基づくデザインを具体物に展開した(JR中央線と東急線の内車・構内用)のPR映像。北海道洞爺湖サミットおもてなしロゴ。交通ICカード) ・ (2)円卓会議の開催：3,500千円 「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の実現に向けた具体的施策の議論と、VI戦略の重要性の提言の場として開催 ○IPビジネス研究会 著作権、版権等の権利を活用したビジネス手法の習得を目的とした研究会を開催			[政]政策企画部 ((2)～(4) 2,186千円) (1)アイコモンズサミット2008の開催(29,788千円)～20年7月29日から8月1日まで開催。550人参加(うち、海外からの参加者200人) (2)創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の設立～20年5月に芸術の森地区関係機関で発足。情報誌の発行やセミナー等を開催。 (3)創造都市さっぽろ推進会議より創造都市さっぽろへの提言：学識者、有識者、公募委員で発足した市民会議より創造都市さっぽろの推進方策の提言を受ける。 (4)創造都市さっぽろセミナーの開催：創造都市の第一人者、佐々木雅幸氏(大阪市立大学大学院教授)を招いてセミナー、ワークショップの開催。140人参加 [経]産業振興部 (1) 創造都市産業活性化研究会(500千円) グラフィックデザインを活用した産業振興の可能性を検討するための研究会を立ち上げ、その方向性や具体策につき提言を受けた。 (2) ワークショップ開催(2,205千円) 地元クリエイターや学生等が参加するワークショップ等を開催、札幌を象徴する「クリエイティブ資源」を抽出しグラフィックを制作、具体的な成果品として市職員用の名刺デザインを制作した。 (3) 映像制作ワークショップの開催(945千円) (2)で制作したグラフィックを主な素材として「さっぽろスイーツ」、「札幌スタイル」、「さっぽろとれたてっこ」のPR映像を制作した。		
	平成21年度事業内容（決算）			平成22年度事業内容（予算）		
規模	[政]政策企画部 (1)12月に「クリエイティブ・コモンズ」セミナー・展示会を開催[800千円] (2)創造都市交流シンポジウムの開催(1,135千円)平成20年度文化庁長官表彰を受賞した首長を招き9月11日開催。(200人参加) (3)クリエイティブ・シティーズ・ネットワークの研究(1,995千円) 加盟に向けて、事業概要や加盟分野検討など情報収集を行った。 [経]産業振興部 (1) グラフィックデザイン産業ビジネスマッチング事業 20年度に実施した産業活性化研究会での提言を受け、グラフィックデザインを活用して市内産業の商品価値と販売力の向上に結び付けるため、コーディネーターを配置しデザイナーと各産業界とのビジネスマッチング等を実施した。 (2) ワークショップ開催 地元クリエイターや学生等が参加し、札幌を象徴するクリエイティブ資源を抽出し、それらを素材としたデザインを作成するワークショップを行いその成果を大通地下街にて発表、展示した。次代を担う学生たちに「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の内容や意味を広めると同時に、クリエイター人材の育成にもつなげた。			[政]政策企画部 (1)創造空間(駅地下北2条広場)プレイベントの実施 (2)創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の運営 (3)クリエイティブ・コモンズ普及活動の支援 (4)クリエイティブ・シティーズ・ネットワークの研究 (5)官民連携会議の設置 [(3)～(5)5,000千円] [経]産業振興部 (1) グラフィックデザイン産業ビジネスマッチング事業 21年度に引き続き、デザイナーと各産業界とのビジネスマッチングを行うとともに、デザイン活用モデル事例構築として、マッチング企業による商品開発の一部を補助する等の事業を推進する。		
	件数等					

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-3-2		事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
創造都市官民間連携推進組織の設置	-	-	-	-	設置	設置
IPビジネス研究会への参加企業数	-	15社	-	40社	50社	50社
市民・企業等との協働の状況（市民・企業等の参加、支援、協力の状況）						
■市民との連携、市民参加 [政]政策企画部]創造都市交流シンポジウムに200人参加。平成20年度に文化庁長官表彰「文化芸術創造都市部門」を受賞した4都市をはじめとする創造都市間の交流を深め、それぞれの取り組みについて学ぶとともに、市民に対して文化芸術のもつ創造性を活かしたまちづくり啓発を行い、札幌市から全国に向けて、創造都市のあり方について発信した。 [経]産業振興部]ワークショップの成果発表は、大通地下街でプレゼンテーションとパネル展示を行うことで広く市民に発信した。 ■企業等との連携・協働 [資金協力]（該当なし） [人材協力]（該当なし） [情報協力]（該当なし） [その他の協力] グラフィックデザイン産業ビジネスマッチング事業では、地元デザイナーやデザインを活用する企業等が参加し、産学官連携でグラフィックデザイン産業振興施策を議論した。 ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり [政]政策企画部]市民全般を対象にしたセミナーを開催。 [経]産業振興部]グラフィックデザイン産業ビジネスマッチング事業では、多くの業界から幅広く参加者を集めるため、事業の概要やデザイン活用によるビジネス成功事例を記載したパンフレット作成しプロモーションツールとして活用した。						
評 価（ 成 果 ）			課 題			
[政]政策企画部] ・創造都市間の交流が深まるとともに、それぞれの取り組みについて学ぶことができた。 ・各都市の創造的活動実践者の議論に市民が触れることにより、文化芸術の持つ創造性を活かしたまちづくりについて考えるきっかけを提供することができた。 [経]産業振興部] ・産学官連携によるグラフィックデザイン産業振興の推進体制を構築するとともに、セミナーや勉強会を通じて、デザインの価値を理解する企業を増やし、今後のビジネスマッチング促進への足掛かりをつくった。 ・市民との共同によるワークショップ開催により、創造都市概念の市民への浸透を図るとともに、クリエイティブ人材の育成を行った。			[政]政策企画部] 創造都市さっぽろの実現に向けた取組みは各部局に広がりつつあるため、それを束ねていく庁内連携組織が必要である。また、創造都市を実現していくには、官民連携で行動していくことが必須であるため、民側の機運を高めていく必要がある。 [経]産業振興部] 創造都市さっぽろという都市ブランドを活用して効果的な産業振興をつなげるために、対外的な情報発信を進めていき、市民に更に浸透させていく必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
[政]政策企画部] 創造都市さっぽろを実感できるような事業展開を庁内連携で取りんでいく。また、創造都市の実現の機運を高めていくため、市民、企業、行政が連携して取り組んでいく。 [経]産業振興部] グラフィックデザイン産業ビジネスマッチング事業による業界の活性化を通じて、創造都市としての都市イメージを高めていく。札幌の良質なイメージを醸成・発信することで、クリエイティブ企業・人材の進出、定着や注目度のアップなど、域内への投資促進を図りたい。						

